

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

久喜市立小林小学校（埼玉県）

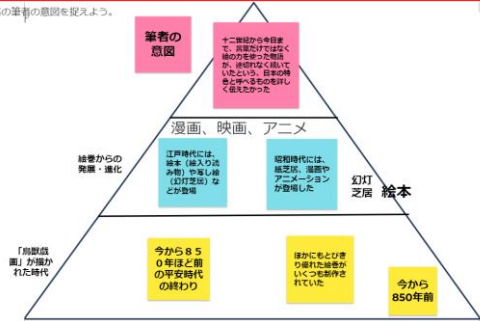
【取組内容①】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

6年【国語】「鳥獣戯画」を読む／日本文化を発信しようの実践

◎各段落の要旨や筆者の書き方の工夫をジャムボードを活用して話合った。ペアや全体での話合いに活用することで、協働的な学びを目指した。

◎日本文化（日本画）の良さを伝えるため、筆者の見方・伝え方を参考にジャムボードを使って自分の見方をはっきりさせた。メモを元にドキュメントで紹介文を作成。紹介文のレイアウトや文字の大きさ、写真の配置など、目的に合わせて個々に考えて作成させた。

8段落の筆者の意図を捉えよう。



* ピラミッドチャートを使って焦点化。



日本文化の一つ「日本画」を発信しよう！

名前（ ）	自分の見方	筆者の見方
自分の見方	鳥が羽を動かして飛ぶ姿が、まるで人間が走っているように見える。鳥の足は、まるで人間の足のように見える。鳥の顔は、まるで人間の顔のように見える。	鳥が羽を動かして飛ぶ姿が、まるで人間が走っているように見える。鳥の足は、まるで人間の足のように見える。鳥の顔は、まるで人間の顔のように見える。
筆者の見方	鳥が羽を動かして飛ぶ姿が、まるで人間が走っているように見える。鳥の足は、まるで人間の足のように見える。鳥の顔は、まるで人間の顔のように見える。	鳥が羽を動かして飛ぶ姿が、まるで人間が走っているように見える。鳥の足は、まるで人間の足のように見える。鳥の顔は、まるで人間の顔のように見える。

日本文化を発信しよう～日本画の魅力～『鳥獣戯画』

この考察は、この絵のどこが違って成り立たない例え、顔の向きが下を向いている、暗く感じ、希望や成功などは出てこない。やはり、この絵は希望に向かって進むこと、先を見据え、勇気の翼を持ち、色々な困難を地道に乗り越え先に、本当の成功や幸せが待っていることを力強い絵で表している、見ていただけでも勇気をもらえる、素晴らしい作品だ。

* マンダラチャート使って自分の見方を明確にしていく。

◆個々の作業中でも、作成の途中経過をチャットを活用して伝え合うことで他者参照する機会を設けた。子どもたちが自分の考えの良さに気づいたり、友だちの良さを知り、自分の文章に取り入れられることができ、結果として全体的な表現力の向上につながった。